

国 語 科	科目名	国語総合	担当者	仲村優子・奥作由香
履修学科	情報技術科・インテリア科・デザイン科・調理科			
履修学年	第 1 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	1. 国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成する 2. 伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする 3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる			
評価基準 及び方法	ア. 授業に取り組む姿勢 イ. 定期テストの得点 ウ. 小テストおよび課題提出			
使用教科書 及び教材	・新編 国語総合（大修館書店） ・漢字マイスター 頻出漢字熟語 3000（第一学習社）			
その他留意点	・さまざまな視点や立場に立って考える習慣を養う。 ・語彙力の向上を図る。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法
4	1 感動する心 ○ワンダフル・プラネット！ (野口聡一)	○「センス・オブ・ワンダー」を心に持つことの大切さを理解する。 ○筆者の主張を読み取り、感受性を豊かにし感動する心を育むことの大 切さを理解する。
5	2 小説を楽しむ ○子供たちの晩餐（江國香織） ○バスに乗って（重松 清）	○作品の構成・展開を正しくとらえ、登場人物の心理の変化を味わい、 読書への意欲を高める。
6	3 古文に親しむ ○古典の魅力(野村萬斎) ○ねずみの婿取り「沙石集」 ○兎のそら寝「宇治拾遺物語」	○古典と現代とのかかわりや日本の古典芸能について知り、古典に親 しむ態度を育てる。 ○古典の言葉に慣れ、正しく音読し、的確に内容を読み取る。 ○古典を読むための知識を得る。
7	4 随筆の楽しみ ○なんてステキな光景なの！ 春はあけぼの（山口仲美） ○にくきもの（清少納言）	○自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。 ○随筆の文章表現の特色について理解する。
9	5 日本語を見つめる ○季節の言葉と出会う（黛ま どか） ○漢字の性格（金田一春彦）	○漢字の特色及び日本語における漢字の働きを知るとともに、 漢字を身につけることの大切さを理解する。 ○日本の季節を表す言葉の理解を通して、日本人の季節に対す る感性について関心を深める。

10	<p>6 社会に生きる</p> <p>○何のために「働く」のか (姜尚中)</p> <p>○ボランティアという名の 「無償材」(堀田力)</p> <p>○手紙を書こう</p>	<p>○筆者の考えを叙述に即して的確に読み取り、働くことについての理解を深める。</p> <p>○論理の展開をたどり、「ボランティア」が社会において果たす役割について、理解を深める。</p> <p>○手紙の書き方を理解し、相手や目的に応じて手紙を書く。</p>
11	<p>7 漢文のとびら</p> <p>○漢文のすすめ 未来を考 えるヒント (加藤 徹)</p> <p>○訓読のきまり 格言</p> <p>○故事成語「守株」「推敲」</p>	<p>○漢文に親しみ、漢文を学ぶ意義を理解する。</p> <p>○訓読のきまりを理解する。</p> <p>○漢文を音読し、漢文に親しむ。</p> <p>○文章を読んでものの見方、考え方を広げたり深めたりする。</p>
12	<p>8 唐詩のしらべ</p> <p>春眠暁を覚えず</p> <p>自然のうた「江雪」「山行」</p> <p>友情のうた「送元二使安西」</p> <p>憂愁のうた「登楽遊原」 「春望」</p>	<p>○唐代の詩を繰り返し音読し、漢文特有の口調に習熟する。</p> <p>○名作に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。</p> <p>○漢詩の形式や表現について理解する。</p>
1	<p>9 小説を味わう</p> <p>○羅生門 (芥川龍之介)</p>	<p>○近代小説の名作に親しみ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。</p>
2	<p>9 小説を味わう</p> <p>○水かまきり (川上弘美)</p> <p>○司会者を立てて話し合おう</p>	<p>○登場人物の心理や性格を理解し、短編小説の魅力を味わう。</p> <p>○司会者を決め、相手の立場や考えを尊重しながら建設的に話し合う。</p>
3	<p>10 詩歌との出会い</p> <p>○詩 はる／一つのメルヘ ン／あどけない話</p> <p>○短歌</p> <p>○俳句</p>	<p>○詩・短歌・俳句に親しみ、それぞれの形式や表現の特色を理解する。</p> <p>○作品にうたわれている情景や心情を表現に即して味わう。</p> <p>○作品を味わい、人生や自然に対する見方、感じ方、考え方を深める</p>